

# 地域密着型通所介護「北町リハビリデイサービス ころ」 運営推進会議 議事録【第4回】

日時	平成29年10月18日(水) 12:50～13:30			場所	北町リハビリデイサービス ころ 機能訓練室		
利用者	A 様	地域代表	C 様	市職員	谷村 則久 様	通所介護	塩野 正貴
家族	B 様	地域包括	篠宮 妙子 様	通所介護	坪木 有生		

## ■ 議題

- 1、活動状況報告
  - 登録者数(市内・市外、合計)
  - 平均介護度
  - 関節可動域訓練について
- 2、活動状況の評価
- 3、出席者からの要望・助言

## ■ 議事内容

- 1、
  - ・現在の利用者様の合計人数は80名(H29.9月)  
市内70名 市外10名(練馬区10名) 男女比 男:女 2:8
  - ・平均介護度  
要支援1.69 要介護1.74
  - ・関節可動域訓練について  
当施設では筋力、関節可動域の低下がみられる要介護の方を対象に柔道整復師、作業療法士、理学療法士とそれぞれの分野に特化したスタッフとともに行う関節可動域訓練の時間があります。  
専門スタッフとマンツーマンでリハビリ指導、可動域訓練、筋力トレーニング、筋肉に痛みや拘縮を持っている方はストレッチなどを行い、ご利用者様一人一人のお体の状態、要望に合わせて行っている。  
ご利用者様のお体を直接触ることで知り得る情報も多くあり、過去には足の浮腫みの状態が日に日に強くなっていたご利用者様がいて、日常生活動作は無理なく行えていたが、施術中に少し様子がおかしいと感じたスタッフが循環器の受診を促したところ、腎臓の疾患が発覚し、あと少し遅れていたら危ない状態だった事例や右足に人口の股関節を持っている利用者様のご自宅で転倒された後、右太腿の軽い痛みと腫れを訴えており、本人は「歩けるし病院に行くほどではない」との訴えだったが、股関節の触診と動きを観察し、すぐに整形外科の受診を促したところ、右足の人工関節が外れかかかってしまっていて、すぐに手術を行った結果、現在は以前より歩行状態が良くなり、元気にご通所して頂いている方もいる事例などもあります。  
各専門分野のスタッフがいる為、お体の細かい変化に気がつき、スタッフ同士で情報共有し、必要があればご家族様、ケアマネージャー様に連絡を取っております。
- 2、
  - 利用者: 本日通所時にスタッフが体の湿疹に気づいてくれました。体のことを注意深く見てくれて助かっています。
  - 家族: 必ず始めに体調を聞いてくれて、その日の体調に合わせて運動を行ってくれて、とても気を遣って頂いています。
  - 地域代表: 近所の方にとっても気を遣って頂いていて、車の出入りや落ち葉掃き、雪かきなど近所まで行って頂いてとても助かっています。
- 3、
  - 地域包括: 個別運動プログラムの作成は担当をつけて行っていますか？作成時はどのように行っていますか？
  - 塩野: ご利用者様一人一人に担当はつけておりません。スタッフ全員で話し合いながらご利用者様の個別運動プログラムを作成しております。作成時はご利用者様の目標・課題に合わせ、ご利用者様と専門スタッフと話し合いをしながら一人一人に合った運動メニューを作成しております。
  - 市職員: 今回関節可動域訓練という一つのテーマを議題に話して頂いてとてもよかったです。次回も何かテーマを持って会議を行って頂ければと思います。